

在英ジャーナリスト 小林恭子さん講演会

「英国国立公文書館から見える英国社会とメディア」



英国や欧州諸国のメディアウオッチャーである小林恭子さんがこの3月、「英国国立公文書館」の歴史や現代の意義・課題をテーマにした新著の出版に合わせて一時帰国されます。公文書の保存と活用は、ジャーナリズムや博物館とも関連が深く、この機会に当館でお話を伺います。メディア、博物館、図書館などの関係者だけでなく、歴史や社会に関心をお持ちの皆さん、お誘いあわせの上ぜひお越しください。

～小林さんからのメッセージ～

「英国の公文書管理の記録は11世紀頃に遡り、現在、『公文書はみんなのためにある』という視点が運営の根底にあります。政策過程を文書に残し、後世の審判にゆだねる——英国民主主義の歩みが公文書館の運営に凝縮されています。どんな公文書が保管、活用されているのか、スライド写真などでもご紹介したいと思います」

【小林恭子（こばやし・ぎんこ）氏略歴】

1981年成城大学文芸学部卒業後、米投資銀行勤務。読売新聞の英字日刊紙「デイリー・ヨミウリ」（現ジャパン・ニュース）の記者・編集者を経て、2002年渡英。英国や欧州諸国のメディア、政治経済、社会事情を雑誌やニュースサイト、日本新聞協会の定期刊行物などに寄稿。著書は『英国メディア史』（中公選書）、『フィナンシャル・タイムズの実力』（洋泉社）、共訳『チャール・ファクター』（プレジデント社）など。新著は『英国公文書の世界史：一次資料の宝石箱』（中公新書ラクレ、3月8日発売予定）。

- 日時：3月25日（日） 午後2時30分～4時
- 場所：ニュースパーク（日本新聞博物館） 2階イベントルーム
- 定員：70人（聴講無料。ただし、新聞博物館への「入館料」が必要です）
- 申し込み

メール（npevent@pressnet.jp）または往復はがきで、氏名・電話番号・メールアドレスを記入のうえ、3月20日（火）までにお申し込みください（往復はがきは、返信部分に宛先をご記入ください）。定員になり次第、締め切らせていただきます。

- ・メールは、件名を「英国公文書館」としてください。添付ファイルはお受けできません
- ・今後、当館のイベント・講演会をメールでご案内することがあります。希望されない方は、その旨を明記してください



〒231-8311 横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター内
電話：045-661-2040
メール：npevent@pressnet.jp

- ・みなとみらい線「日本大通り」駅3番文センター口直結
- ・JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内」駅 徒歩10分
- ・横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」徒歩1分

